

愛知学院大学

Aichi-gakuin University

法学部
同窓会会報

Vol.69 2011.1.1



CONTENTS

- 2… 定期総会・懇親会開催報告
- 4… 個人情報の取り扱い新ルールについて
- 6… 学長就任の挨拶
- 7… 奨学生からのメッセージ
- 8… 司法試験に合格者からのメッセージ
- 9… OB・OG会報告・
同窓会活動インフォメーション
- 10… キャリアデザインと法学・法律相談会報告
- 11… 地方同窓会
- 12… 先生お元気ですか?(林董一名誉教授)
- 13… キャンパス紹介・人事・高橋先生ご逝去
- 14… クラブ活動成績
- 16… 法学部同窓会創立50周年記念式典・講演会予告
リレー「私のふるさと」・ホームページ新企画の紹介

定期総会・懇親会 開催報告

平成22年6月19日(土)、名古屋東急ホテルにおいて、定期総会が開催されました。

定期総会終了後、懇親会が催され、小出学院長、大野学長、大学関係者、各地方同窓会の皆様をはじめ、卒業生156名に御出席いただきました。卒業生の中には、ご家族で参加されている方も多く見うけられました。大勢の皆様のお出席のおかげで、盛大な会を催すことができました。また、恒例の抽選会では、当選番号が発表されるたびに、当選者の喜びの声と、くじにはずれた方々の残念の声で会場は盛り上がりました。



大盛況の懇親会

今回も懇親会の目玉は…
やはり「大抽選会」というわけで景品の
テーマは“うるおい”として

- 1等** ブルーレイ内蔵型テレビ
- 2等** ムービーデジカメ、空気清浄機
- 3等** 松茸(広島産)
- 4等** Wii(任天堂)
- 5等** ナゴヤドーム(プライムツイン)
- 6等** デパート商品券
- 特別賞** ペアディナー券

が準備されました。
当選が出るたびに会場は大いに湧き、
山田さん(S50年卒)が見事1等をGET
されました。

総会報告

平成22年度定期総会は、三浦利和広報部長が議長を務め、
下記の第1号議案から第5号議案までを提議し全ての議案が可決されました。

議 題

1. 平成21年度事業報告
2. 平成21年度会計報告(3ページ)
3. 監査報告
4. 平成22年度事業計画(3ページ)
5. 平成22年度予算案(3ページ)



当選おめでとうございます!

1等当選

昭和50年卒

山田 渉さん(写真右)

「夢を叶えてくれる同窓会」

2年前の名古屋観光ホテルの時は中田ドラゴンズ戦のチケットが当たり、今回はブルーレイ内蔵型テレビが当たりました。欲しかった物や観たかった時に当たったので嬉しさも倍増です。

特別賞当選 平成14年卒 西崎 拓さん

「久々の大学生気分」

8年ぶりに懐かしい旧友にも再会し、プレゼントまで頂き最高に楽しい同窓会でした。ありがとうございました。



2等当選 平成2年卒 田中淳子さん

「欲しかった空気清浄機」

今回の景品のテーマは「うるおい」。淡いピンクの清浄機は同窓会の思い出と共に長く大切に使用させていただきます。

2等当選 昭和45年卒 小川 洋さん

「ムービーデジカメ」

10数年前のヒルトンホテルの同窓会后、しばらく参加しませんでした。今回ひさしぶりに出席した東急ホテルで女神が私にほほえんでくれて見事当選!!有難うございました。

今回当たらなかったあなた、次回は1等があなたに当たるかもしれませんよ!
次回もぜひ出席してくださいね!

平成23年度の総会・懇親会は

平成23年6月26日(日)に愛知学院大学 日進学舎で開催されます。

恩師との再会を楽しみに...

同級生との再会を楽しみに...

いやいや大抽選会を楽しみに???

是非、ご家族でご参加下さい!!

※総会案内は23年5月中旬にお送りします。

景品のテーマは「歩(あゆみ)」

1等 3Dテレビ 1本

2等 iPad 2本

3等 ポータブルDVDプレイヤー 2本

ホームベーカリー 2本

4等 野球観戦チケット(ペア) 8本

5等 お米(5kg) 16本

6等 デパート商品券 ※景品は変更になる場合があります。

収支計算書

愛知学院大学法学部同窓会

自 平成21年4月1日

至 平成22年3月31日

(単位:円)

科目	平成21年度予算	平成21年度決算	増	減
収入の部				
前年度繰越金	214,561,766	214,561,766	-	0
学部人会費・会費	16,380,000	16,080,000	-	300,000
大学院会費	387,500	575,500	+	12,000
受取利息	500,000	544,816	+	44,816
雑収入	150,000	107,000	-	43,000
合計	232,179,266	231,869,082	-	310,184
支出の部				
連絡協議会費	300,000	300,000	0	0
総会費	4,000,000	3,215,974	-	784,026
会議費	800,000	607,264	-	192,736
奨学金	1,440,000	1,440,000	0	0
勤成金	2,000,000	1,656,734	-	343,266
印刷費	2,100,000	1,832,391	-	267,609
通信費	1,400,000	1,271,768	-	128,232
人件費	3,800,000	3,441,528	-	358,472
民費交通費	2,000,000	1,582,781	-	417,219
消耗品費	300,000	296,268	-	3,732
雑費	100,000	57,937	-	42,063
贈品費	300,000	113,500	-	186,500
在学生育英費	600,000	503,471	-	96,529
広報管理費	500,000	477,726	-	22,274
創立50周年記念事業費	200,000	62,400	-	137,600
雑費	60,000	22,662	-	37,338
予備費	100,000	0	-	100,000
合計	23,000,000	16,951,284	-	6,048,716
次年度繰越金	212,179,266	214,917,798	+	2,738,532

第4号 平成22年度事業計画

同窓会においては、求められる世界各地で起きている地域紛争の平和的解決、貧や富裕・高齢・人口・難民問題など人類的な多くの課題を抱えております。また、自発的に起こり発生する世界的な経済危機は、私たちにも多大なる影響を及ぼしてきております。私たちは遠い世界の課題としてではなく、これらを目の前の課題として考えなければなりません。

国内に目を向けると、情報化、国際化が一層進展し、格差の拡大、本格的な少子高齢化社会が到来するなかで、人々の意識や生活の多様化、個性化が進むなど、政治・経済・社会のあらゆる場面で、変化の潮流が生じております。

このような情勢のなか、母校とともに歩む法学部同窓会は、人類の福祉と文化の発展に貢献するための積極的な活動が、ますます重要となってまいりました。また、平成23年は、法学部第一回卒業生が世にから50年を迎える記念すべき年度となります。その節目の年を迎えたいと思っておりますが、記憶に残る楽しい50周年となるような企画を準備したいと思います。

そこで今年度は、次のような諸事業を行ってまいります。

1. 母校および他同窓会との連携を図る事業
 - ・連絡協議会活動
 - ・他同窓会活動への参加
 - ・在学生への奨励・支援(奨学金給付、OB講師等)
2. 同窓生相互の親睦を図る事業
 - ・定期総会の開催
 - ・法学部同窓会創立50周年記念事業の準備
 - ・第1回の会報の発行
 - ・同窓会ホームページの充実
 - ・地方同窓会および支部活動への支援
 - ・同窓生相互の親睦への支援(OB・OG会合含む)
3. その他
 - ・地域での法律相談の開催
 - ・同窓生への災害時のお見舞い

第5号 平成22年度予算

愛知学院大学法学部同窓会

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	214,917,228	連絡協議会費	300,000
学部人会費・会費	16,630,000	総会費	5,000,000
(注)		会議費	700,000
大学院会費	625,000	奨学金	1,440,000
受取利息	500,000	勤成金	2,000,000
雑収入	150,000	印刷費	2,000,000
		通信費	1,400,000
		人件費	3,700,000
		民費交通費	1,700,000
		消耗品費	300,000
		雑費	500,000
		贈品費	300,000
		在学生育英費	600,000
		広報管理費	500,000
		創立50周年記念事業費	2,000,000
		雑費	60,000
		予備費	100,000
		小計	25,000,000
		次年度繰越金	212,837,228
合計	232,832,228	合計	232,832,228

(注) 学部人会費・会費は1本で計上する。(大学からの要請により)

リーガルクリニック特別勘定

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	0	リーガルクリニック運営費	4,000,000
次年度繰越金受入	4,000,000		
		小計	4,000,000
		次年度繰越金	0
合計	4,000,000	合計	4,000,000

個人情報の取り扱い新ルールについて

同窓会では、平成17年の個人情報保護法施行以来、同窓生の皆さまの個人情報を適切に取り扱うべく、基本方針・個人情報保護規定を定め、慎重に取り組んでいます。具体的には次ページの「個人情報の取り扱いについて」のとおりです。

法施行後、個人情報保護の観点から同窓会会員名簿を作成することはありませんでした。また、同期会・クラス会などで名前・宛先など利用要望があっても殆どの場合、要望にお応えすることができませんでした。しかし、平成23年に法学部同窓会創立50周年をむかえるにあたり、同窓会員相互の親睦を深めることの重要性を再認識し、検討の結果、個人情報保護法と会員個人の同意の範囲内で、要望のある団体には審査の上、個人情報を利用することができることにいたしました。

同窓会員の皆さま方はじめ、この春ご卒業の新同窓生には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

個人情報の利用に同意されない場合は、お申し出ください。

お手数ですが同窓会事務局までお越しく下さい。
本人確認をさせていただいた上で、お名前以外の項目を消去します。
ただし、システム上、会員番号とお名前は会員履歴に残ります。
消去手続きは、ハガキ・手紙やE-mailで取り扱わないことにしています。

注)住所の利用にご同意いただけないと、同窓会報はじめ一切の案内をお届けできなくなりますのでご注意ください

次の場合に個人情報が利用されます。

1. 会報の発送、同窓会主催行事の案内ならびに支部・地域同窓会から案内を発送するとき。
2. 同期会、クラス会等の親睦会開催にあたり、幹事担当の同窓生から申し出があり、提供が適正と認められたとき。
3. 愛知学院大学の同窓会担当責任者から申し出があったとき。
4. その他 同窓会活動において提供が必要と認められたとき。

E-mail(携帯でないメールアドレス)登録のお願い

年1回の会報発送ではタイムリーにお知らせや報告が出来ないのでそれを補う手段として、E-mail(携帯でないメールアドレス)によるお知らせや報告をしたいと思えます。また近い将来には会員相互のコミュニケーションの中立ちも考えています。そこで、今回E-mail(携帯でない)の登録をお願いすることになりました。ご協力をお願いします。なお、登録頂いたメールアドレスの使用は、同窓会から会員の皆様へのご案内・連絡目的に限ることとします。

個人情報の取り扱いに関するご質問は、 FAXまたはE-mailで同窓会事務局までお尋ねください。

愛知学院大学法学部同窓会事務局 (休み…土・日・学校の定める休業日)
〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12

Email:houdoso@dpc.agu.ac.jp TEL:0561-73-1111(内線2303) FAX:0561-74-1410



同期会・クラス会・クラブOB会幹事の方へ

個人情報申請の手続き

同期会・クラス会・クラブOB会などを開催するために、該当者の住所などの個人情報が必要な場合は以下の要領でお申し込みください。

- 申し込み受付は、平成23年7月1日からとします。
- お申し込みは代表者2名以上でお願いします。
事務局から「同窓会会員情報申請書」と「秘密保持誓約書」をお送りします。
- 「同窓会会員情報申請書」に必要事項を記載し提出してください。
- 個人情報保護の観点から、「秘密保持誓約書」に代表者および、幹事全員が署名捺印して提出してください。
※「秘密保持誓約書」とは、該当情報について主に次のことを誓約するものです。
1)申し込みの親睦会開催のためだけに使用する。
2)情報をもとに名簿を作成して配布しない。
3)漏洩防止に努め、取り扱いには十分注意する。

ご不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

愛知学院大学法学部同窓会事務局（休み…土・日・大学の定める休業日）

〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12

Email:houdoso@dpc.agu.ac.jp TEL:0561-73-1111(内線2303) FAX:0561-74-1410

個人情報の取り扱いについて

同窓生の皆さまの個人情報につきましては、今日まで同窓会が厳重に保管してまいりました。平成17年4月個人情報保護法の全面施行に伴い、同窓会では、皆さまの個人情報を適切に取り扱うべく、次のような方針を定め、取り組んでまいります。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. **個人情報の収集**…個人情報の収集にあたっては、同窓会会則においてあらかじめ明確に定められた目的のために、必要な範囲内で個人情報を収集します。
2. **個人情報の利用**…収集した個人情報は、同窓会会則に則った目的の範囲内において利用します。
3. **業務の委託**…個人情報の取り扱いを含む業務を外部に委託する場合は、あらかじめ秘密保持のための覚え書きや契約書等をかわし、個人情報の適切な取り扱いを義務付けます。
4. **個人情報の管理**…個人情報は正確かつ最新の状態で管理し、個人情報への不正アクセス、破壊、改ざん、漏洩などの防止のために、適切な措置を講じます。
5. **第三者への開示・提供**…第3項に基づく外部への委託、法令等に基づく特殊な場合を除き、ご本人の事前承諾なく第三者に開示・提供することはありません。
6. **自己情報の開示・訂正・削除等**…ご本人から自己の個人情報を開示、訂正、または、自己の個人情報の利用停止を希望される時は、お手数ですが同窓会事務局までお越しく下さい。(電話、メールまたはFAXでのご連絡はご遠慮ください)
ご本人と確認の上、速やかに開示・訂正・削除等の処理を行います。
7. **個人情報の取り扱いに関する問い合わせ等**…個人情報の取り扱いに関するご質問やご要望につきましては、はがき、メールまたはFAXで事務局までご連絡ください。

愛知学院大学法学部同窓会事務局（休み…土・日・大学の定める休業日）

〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12

Email:houdoso@dpc.agu.ac.jp TEL:0561-73-1111(内線2303) FAX:0561-74-1410

今後必要に応じて、同窓会会則の改定や個人情報保護規定の整備などをしてまいります。

学長就任の挨拶

大野 榮人



昨年4月文学部教授大野榮人(おおのひでと)先生が学長に就任されました。

愛知学院では昭和25年の大学創設以来、学院長が学長を兼務する体制でしたが、総合大学に発展した今の愛知学院では学院長と学長を兼務する体制に限界があることから、学院長と学長を分離し新体制で大学の更なる発展に努めることにしたとのことです。大野榮人学長から法学部同窓会の皆様に就任の挨拶をいただきました。

なお、大学全学部同窓会と大学後援会が共催で、昨年7月1日名古屋東急ホテルにて「大野榮人学長就任祝賀会」を開催したことを報告いたします。

昨年4月1日より不肖私が、134年の歴史と伝統のある愛知学院大学学長に就任いたしました。学院長と学長を分離いたしますのは、愛知学院大学の歴史が始まって以来のことであり、改めて責任の重さを実感しております。

早々に学長就任を祝して、法学部同窓会様より、有名家の瀬戸焼きの「花瓶」をたまわりまして申しわけなく、厚く御礼を申し上げます。

昨年7月1日には、東急ホテル(ベルサイユの間)において、愛知学院大学各学部同窓会の合同主催、愛知学院大学後援会との共催で、550名のご出席のもと盛大な学長就任祝賀会を開催して下さいまして、衷心より御礼を申し上げます。身に余る光栄に浴し、己の身命を投げ出して、愛知学院大学の再生に取り組んで参りますことをお誓い申し上げます。

昨年4月以来、愛知学院大学のことが新聞・テレビ等のマスコミに取り上げられ、種々お騒がせをしておりますことを、先ずもってお詫びを申し上げます。硬式野球部の使途不明金の問題は、調査委員会を立ち上げて調査をし、原因を究明しているところであります。さらに法学部長室への消火器噴射事件、6発の銃弾送付事件、キャリアセンターの部長・次長・課長の解任等々と枚挙に暇がないほど事件が起こっております。見直しをすれば、様々なところに膿が溜まっており、毅然として愛知学院大学の再生に取り組んでいきたいと考えております。

同窓生の皆様が、愛知学院大学の卒業生である、と胸を張って言って頂けるよう、誇れる大学造りに邁進して参ります。まだご迷惑をおかけすることがあるかと存じますが、ご容赦頂きたくお願い申し上げます。

今日、日本の大学の置かれた現実には、非常に厳しいもの

がございます。少子化と経済不況の煽りを受けて、年々、受験生が減少し、日本の50%の大学は、定員を充足できない状況で、すでに大学の淘汰が始まっております。今のところ本学は、全学部が定員を充足しておりますが、何時どうなるか分かりません。教育・研究に優れ、社会的役割を果たす人材を育成し、魅力ある大学でなくては生き残れないという厳しい現実を叩きつけられております。この厳しい難局を乗り越えるためには、抜本的な改革を断行する以外に別の方法はありません。足踏みをしている余裕など全くありません。

魅力ある大学にするためには、最低限、次の条件が完備されなくてはならないと考えております。

第一は、5年計画で志願者を2万人にするために、入試制度の抜本的改革がなされなくてはなりません。

第二は、教育の「質」を保証する教育システムの構築が必要です。教員の一人一人が教育のレベルを向上させ、学生が努力しなければ単位を取得できない、厳しすぎる教育環境の整備に取り組みたい。

第三は、キャリア教育を徹底し、在学中に最低一つの資格を取得してもらうことを制度化したい。

第四は、学生が自ら考え、新たな自己を発見してもらい、自分に自信をもって生きる力を培ってもらうための制度を構築し、学生が「本物の人間」に自己変革を遂げてもらいたい。

常に大学を進化させ、更なる大学の発展のために、我が身命を注いでいくことをお約束させていただきます。

どうか、同窓生の皆様のご理解とご協力・ご支援をたまわりますよう心よりお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

【略歴】

- | | | |
|----------------------|------------------------|--------------------|
| ●昭和38年 駒澤大学仏教学部入学 | ●昭和48年 大谷大学大学院博士課程満期退学 | ●平成14年 学校法人愛知学院評議員 |
| ●昭和42年 駒澤大学仏教学部卒業 | ●昭和50年 愛知学院短大専任講師 | ●平成14年 愛知学院大学禅研究所長 |
| ●昭和42年 大谷大学大学院修士課程入学 | ●平成 4年 博士(仏教学)学位取得 | ●平成17年 学校法人愛知学院理事 |
| ●昭和45年 大谷大学大学院修士課程修了 | ●平成 4年 愛知学院大学文学部教授 | ●平成18年 愛知学院大学図書館長 |
| ●昭和45年 大谷大学大学院博士課程入学 | ●平成14年 愛知学院大学文学部長 | ●平成20年 愛知学院大学副学長 |

本年度法学部奨学生からのメッセージ

平成22年6月26日の同窓会総会後の懇親会席上で、平成22年度法学部同窓会の奨学金給付を行いました。奨学生は、在学生と大学院生から公募され、選考された奨学生に対して、同窓会から奨学金(年額24万円)が給付されるものです。



法科大学院未修者コース2年 森脇知子

この度は、平成22年度法学部同窓会の奨学生に選んで頂き、誠にありがとうございます。

私は、現在、弁護士過疎地で働く弁護士になることを目標に勉強中です。特に、地方での女性弁護士の数はまだまだ不足しており、需要が多いと考えるからです。

この目標を叶えるためにも、今後は、奨学生という自覚を胸に、より一層勉学に励みたいと思っております。本当にありがとうございました。



法学研究科前期2年 李平

この度は、平成22年度法学部同窓会奨学生に選定していただき、誠にありがとうございます。多くの奨学生候補生の中から選ばれて、とても嬉しく感じております。

今後、貴会の奨学生として、法学部同窓会の様々な活動に積極的に参加してまいりたいと思います。そして、今回奨学生として選ばれたことをきっかけにより優れた修士論文を作成できるように頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。



法学研究科前期1年 小島美幸

この度は、平成22年度法学部同窓会奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。多くの奨学生候補生の中から私を選んでいただけたことを知り喜びと感謝の気持ちで大変感激いたしました。これからは奨学生として恥ずかしくないようより一層勉学と研究に励んでいきたいと思っております。



法学部法律学科4年 四井広美

平成22年度法学部同窓会奨学生に選んで頂き、誠にありがとうございます。多数の応募者の中から、選定して頂いた事に大変感謝しております。

私がこれまで頑張ってきたのは、難しい法律を分かりやすく解説し、法律を学ぶ重要性和楽しさを教えて下さった先生方、日々支えて下さっている職員の方々、良き友人達と家族のおかげであり、本学での学生生活は本当に楽しく充実したものとなりました。

残り一年、残された時間を大切に、一層勉学に励み、同窓会の皆さんの想いに応えられるよう、そして愛知学院の法学部に入りたいと思ってもらえるような社会人を目指して頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。



法学部法律学科3年 丹阪亮人

この度は、法学部同窓会の奨学生に選定していただき誠にありがとうございます。大変嬉しく思います。そして、同窓会の皆様をはじめ、日々私にたたかくご指導して下さっている先生方にも感謝しております。

これからの学生生活も勉学に励み、奨学生の名に恥じぬよう一層努力を重ねてまいりたいと思っております。



法学部法律学科1年 松山一幸

この度、平成22年度法学部同窓会奨学生に選定していただき心より感謝しております。ありがとうございました。いろいろな事情を抱えた方々の中から選定していただいた事は光栄な事でもあります。それとともに責任重大な事だと思います。肝に命じて、何事にも誠心誠意で励みたいと思っております。幼い頃より柔道で学んだ心技にも更に磨きを掛けていきたいです。

旧司法試験(63期)に合格

法学部を平成15年卒業の野々垣吉曜さんが平成21年の司法試験に合格し、司法修習を経て今年から名古屋市内の弁護士事務所で活躍されております。平成18年から法科大学院終了者の新司法試験が実施され、それと平行して実施されるいわゆる旧司法試験はだんだん厳しくなってきました。そんな中で見事難関を突破した野々垣さんからメッセージをいただきました。



野々垣吉曜(のがき よしあき)平成15年卒

私が、弁護士を志したのは、大学を卒業してからです。在学中は、まさか自分が、司法試験に挑戦することになるとは、考えてもいませんでした。

それでも、私が司法試験に挑戦しようと思ったのは、「真面目に生きている人が、正当な評価を得られる社会となるよう、貢献できる仕事がしたい。」という社会への思いと、「挑戦せずに後悔するより、たとえ合格できなくても挑戦した方が後悔も少なくて済む。」という個人的な思いがあったからです。

無事、実務家としての道を歩み始めた訳ですが、弁護士1年目では、まだまだ分からないことが多く、毎日が勉強です。クライアントの話を真摯に聞き、事件の全体像を見て、あらゆる角度から主張、反論を検討する毎日を過ごしています。その結果、クライアントに満足して頂き、感謝の言葉をかけられると、「弁護士になって本当に良かった。」と感ずることが出来ます。

まだまだ未熟者の私ですが、今後も日々研鑽を重ね、より質の高い法的サービスを提供できる弁護士となるよう、努力して参ります。最後に、私に対し、このような文章を書く機会を与えてくださった法学部同窓会の方々に、心より感謝致します。

新司法試験(新64期)に3名合格 ~合格者の喜びのメッセージ~

平成22年9月9日法務省より、本年の新司法試験の合格者が発表され、本学法科大学院(ロースクール)修了者のなかから3名が合格しました。9月15日に行われた法科大学院主催の祝賀会には、法学部同窓会大矢参与(前会長)が出席し、3名の方にお祝いの言葉にそえて合格の記念品を贈りました。



菊田直樹(きくた なおき)

私が今回新司法試験に合格できたのは、共にゼミをしてくれた友人のおかげです。また、二十四時間体制で勉強できる環境を提供してくれた大学及びいつも勉強のし易い環境を整えて下さった事務局の方々のおかげです。

愛知学院大学法科大学院は少人数制を採用していることから、学生同士の仲が大変良く、議論や情報交換するのに最適な環境でした。また、学生同士の自主ゼミも活発に行われています。私は、幸運にもここで素敵な仲間に出会えることができ、彼らと自主ゼミを通じ、競い合い、協力しあったことが今回の合格に繋がったと思っています。また、先生方は学生の自主ゼミに参加して下さり勉強方法はもちろん、日常生活全般についても親身に相談にのっていただきました。少人数ならではの距離感・連帯感が学習支援、教育支援の随所に活かされています。

愛知学院大学法科大学院での三年間は、まさに楽しく勉強ができる充実した毎日でした。大学院及び関係者の皆様へ感謝しています。



山本英季(やまもと ひでとし)

私は、家族や友人が何らかのトラブルに巻き込まれた時に手助けできたらとの思いから弁護士をめざしました。愛知学院法科大学院へ入学する前は、旧司法試験を何度か受験し、あと一步のところまで来ましたが、年齢的に、「もう失敗はできない」という思いから愛知学院法科大学院へ入学することを決めました。

愛知学院法科大学院では、小規模な法科大学院だからこそできるマスプロ的な指導ではない少数精鋭の先生方の親身な指導を受けることができました。このような指導によって、今まで何度考えても分からなかった問題が解決できたり、今まで自分が気づけなかった弱点を発見できたりと自分の今年度の合格の大きな要因となりました。また、24時間利用できる個別自習室、図書館、パソコン室など、いつでも快適に勉強に打ち込める環境も自分のペースを崩さず勉強を持続していくのにも役立ちました。さらに、勉強をしていて精神的に落ち込んだ時は、先生方に個別に相談に行ったり、緑あふれる広大なキャンパスを散策したりと精神的な面でも快適に勉強を続けることができました。

さらに、合格後の就職支援体制も整っていることも小規模の法科大学院だからこそできることだと思います。

このように素晴らしい環境の中で私を合格に導いて下さった愛知学院法科大学院には大変感謝しています。



吉田光利(よしだ みつとし)

私は平成21年新司法試験に不合格となり、そこから1年間勉強を重ね平成22年新司法試験に合格することができました。

私は愛知学院大学から片道2時間半かかる豊川市に住んでいることもあり、合格までの約4年間の大半を学校に寝泊まりする形で過ごしました。このような形で勉強に専念することができ今回合格を果たせたのは、24時間利用可能な充実した環境が愛知学院法科大学院に備わっていたからです。

また、今回昨年のリベンジを果たせたのは共にこれまで勉強を続けてきた仲間や丁寧に法律の基礎から教えてくださった先生方のおかげだと思っています。受験期間中は先が見えない状況で精神的にも肉体的にも非常に辛いものです。そのような過酷な状況の中で仲間と切磋琢磨し、先生方からも励ましの言葉を頂くことができる環境になれば、4年間最後まで戦い抜くことはできなかったからです。

少人数で結集し合い4年間にも及ぶ戦いを支援してくれた愛知学院法科大学院の協力には大変感謝しています。

OB・OG会合 開催報告

「OB・OG会合」とは法学部同窓会会員が5人以上籍をおく、会またはグループで、法学部同窓会長が「OB・OG会」として認めたもので、法学部卒業生がゼミナール・卒業学年・クラブ・サークル・職場・在住地域で交流する会またはグループが会合をもったとき、出席者1名につき、2千円を助成します。
(限度額があります。詳しくは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。)

伊藤英樹ゼミOB会 / 平成22年1月10日(日)



今年で28回目となる伊藤ゼミOB会新年会が1月10日名古屋市中区にて開催されました。会場は、テレビ塔の南東方向ノリタケビルの並びに新たに開店したトア・ブラン(55年卒の二村さんの店)。店名は純潔、可能性という意味のフランス語でワインディングバーで15名が集い、ジャズを聴きながら楽しいひとときを過ごしました。伊藤先生も鎌倉からお越し下さり、お元気な姿を見せて下さいました。「年令には勝てないが、皆さんの元気な姿を拝見して嬉しい。これからも健康に気をつけて頑張って下さい」とのお言葉をいただいた後、早くも第二の人生を送る人や、山口県に転勤になった人の現況報告など楽しい話題が尽きない会となりました。

最後に先生のお言葉通り、お互いの健康に充分注意し、また来年の再会を誓い合って、中締めとなりました。

鈴木 厚司(S56年卒)

法学部同窓会活動インフォメーション

法学部同窓会 部局別事業計画

法学部同窓会では、理事会・常任理事会・各部会会議が随時行われ、同窓生の親睦と交流、大学の発展に寄与するため、活動を行っています。

平成23年度におきましても、事業計画を円滑に推進しさらに同窓会活動が発展していくよう活動していく予定です。

事務局

- 諸会議の実施●会員名簿の管理●OB講座の充実
- 年1回の無料法律相談会の実施を行っています

広報部

- 年1回の同窓会会報・卒業生向けメッセージパンフの発行
- ホームページの管理・運営を行っています

財務部

- 資産の効率的かつ安全的運用の検討
- 予算・決算の検討を行っています

記念事業 実行委員会

- 記念式典・記念講演会の開催
- 記念論文集の発行
- 会員の親睦推進

渉外部

- 総会の原案作成●地方、支部同窓会、OBOG会との連絡調整、助成を行っています

連絡 協議会

- 大学・各学部組織された同窓会との連携を行っています

文化部

- 学術書出版者、大学院法研会への助成●同窓会奨学金の決定●在学生育英表彰を行っています

監査会

- 会計監査の実施を行っています

法学部同窓会 事務局からのお知らせ

皆様のお名前・住所・勤務先・電話番号等
変更の場合は、ハガキ・FAXで、法学部
同窓会事務局へご連絡ください。

あなたの力を貸してください。同窓会活動に参加してみませんか!!
同窓会活動はボランティアで成り立っています。いま、同窓会役員を募集しています。
詳しい応募の方法は同窓会事務局にお問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法の施行に伴い、法学部同窓会として同窓生各位の個人情報の取り扱いを以下のようにします。

- 同窓会事務局への電話等の問い合わせについて……………
同窓生の住所・電話番号・ゼミ名等の一切の個人情報は、理由の有無等とは関係なくお答えしません。
- 同窓生名簿(ラベル)の打ち出しについて……………理由の有無等とは関係なく、一切お出ししません。

個人情報保護法の趣旨に則り、同窓生の個人情報については慎重かつ適切に処理してまいりますので、皆様のご理解の程をお願い致します。

事務局業務時間について

月～木/9:00～16:00 金曜日/9:00～13:00
土日祝日はお休みです

法学部同窓会事務局

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
電話 0561-73-1111 (内線 2303) FAX 0561-74-1410
メール houdoso@dpc.agu.ac.jp

法学部卒業生のOBが講師となって、自分の職業と法学の関係を語る講座「キャリアデザインと法学」が今年度も前期に開講され、学生から高い評価を受けました。この講座は法学部同窓会が大学に協賛して実施するもので、今回で7回目となります。

平成22年度において講義していただいたOB（敬称略）

講義日	テーマ	講師	卒年	
4月21日	営業の仕事と採用面接のポイント	福田 一夫	S55	積水ハウス(株) 名古屋支店長
4月28日	法科大学院について	大橋 健太	-	法務研究科 学生
5月12日	夢の達成の為の戦略的思考について	荻田 恭治	S60	大和証券 執行役員 名古屋支店長
5月19日	警察官の仕事について	安西美恵子	H3	一宮警察署 生活安全課 課長代理
5月26日	①良い会社の選び方と企業情報の見方 ②採用担当者はここを見る	恋塚 昭光	H5	(株)東京商工リサーチ 名古屋支社総合事務部部长
6月 2日	弁護士という仕事	村田 武茂	S48	弁護士・村田法律事務所
6月 9日	社会人スポーツとその後について	柴田 輝幸	S62	NTT西日本出向(NTTネオメイト(株)企画部部长)
6月16日	バラエティ番組ができるまで ~面白くなければテレビじゃない~	小林 純子	H13	フリーディレクター
6月23日	消防の仕事について	松田 直人	H9	名古屋市消防局職員
6月30日	公務員の仕事について	八木 紀光	H9	名古屋市病院局長
7月 7日	人生の転機はチャンス!議員になって何ができたか...	高橋 正子	S57	愛知県議会議員
7月14日	教師という仕事の魅力	寺倉加奈子	H20	名古屋市立植田中学校 教諭

キャリアデザインと法学とは???

講座の目的

今日の社会は急速に変容しており、3万種ともいわれる職業の種類においても、仕事内容においても、めまぐるしく激変しているのが実情です。

そこで学生達は、どこの大学においても、自分がどのような職業に向いているのかを判断する材料を獲得するのが、非常に困難になっています。

結果的には、全国のどこの大学においても、就職はしたがすぐにやめざるをえないとか、就職活動が熱心にできないなどという、傾向が現れています。

愛知学院大学法学部と法学部同窓会は、このような事態に対処するために、現代社会での職業のありかたと、それを担う先輩たちの姿を、学生諸君が大学の授業の中で見ることが必要であると判断しました。

先輩たちの社会での活動を先輩の生(なま)の声で触れるなかで、学生達には、自己の将来を深く考えてもらいたいというものです。

授業の内容 スケジュール

OBによる授業は、合計12回(平成23年度からは13回)行います。講師は、同窓会の先輩が担当し、毎週違った講師が登場し、自分の職業と法学の関係を語ります。職業は、公務員、製造業、サービス業など、多岐にわたり幅広い分野で講義が行われます。



報告

法律 相談会

法学部同窓会主催 無料法律相談会を開催いたしました。

- 日 時：平成22年11月13日(土)
- 場 所：長久手町 福祉の家
2階集会室(ござらっせと併設)
- 相談件数：14件
- 相談内訳：隣地境界1件 借地借家1件 離婚1件
遺産相続5件 その他6件



地方同窓会

愛知学院大学同窓会は、地方でも活動しています。そんな地方同窓会総会の模様をレポートしてもらいました。

関西同窓会

■開催日：平成22年8月29日(日)阪急グランドビル グランド白楽天

丸田満正関西同窓会副代表幹事開会宣言のあと、鷹羽浄武代表幹事の挨拶で始まった。つづいて大学代表の大野榮人学長が、大学の現状などを紹介しながら挨拶された。そのあと地方同窓会本部代表として加藤 勇法学部同窓会長が挨拶をした。それから来賓の紹介、21年度会計報告、乾杯、懇親会となった。懇親会は楠元時代の出席者が多いので、楠元の懐かしい話に花が咲く中、時間の関係で、ビンゴゲームでの運試しとなり、最後に校歌斉唱、参加者全員の記念写真を撮り、来年の再会を約しお開きとなった。和気あいあいとした楽しく有意義なひと時であった。全出席者数約45名。 加藤 勇(S38年卒)



山陰同窓会

■開催日：平成22年9月25日(土)松江東急イン

9月25日(土)山陰同窓会総会に出席いたしました。大学側の代表として竹内教務部長が出席され大学の近況の報告がありました。総勢で約30名ほどの出席があり先輩・後輩が久しぶりに顔を合わせ懇談する風景はいつ見てもいいものです。私も旧知の顔を見つけ、久方ぶりの歓談に時のたつのも忘れるほどに和やかな時間を過ごさせていただきました。これからも本部同窓会と地方同窓会の連携を密にしていきたいとの想いを胸に帰ってまいりました。 大矢孝彦(S42年卒)

広島同窓会

■開催日：平成22年10月9日(土)ホテルグランヴィア広島

10月9日(土)広島同窓会に法学部同窓会として渉外部員の今井さんと私が出席致しました。大学の代表として大学入試センター部長の引田さんが出席され最近の大学の近況を話されました。今年は初めて出席したという野球部のOBの人が4名ほどみえました。クラブのOBが誘いあって出席というのもいいですね。

懇親会の雑談の中で役員の方々が毎年出席者の微減していることを危惧されていました。なかなかいい方法(特効薬)は見つからないかもしれませんがこの先も頑張って出席者増を目指して活動して下さることを願わずにはいられませんでした。

会の出席者はいつものように盛り上がり、お喋りに花が咲き時間は短く感じられ、有意義なひと時を過ごすことができました。仲間と久しぶりに会う！本当に楽しいことだと思います。私は今年もまたこの支部の家庭的な雰囲気に参加することができ、癒されて帰ってまいりました。 伊藤桂子(S45年卒)

岐阜県同窓会

■開催日：平成22年11月6日(土)ホテルパーク

18:00~18:30第17回総会が行なわれた。私はその後に行なわれたレセプションに出席。大学からは酒井キャリアセンター部長、総合政策同窓会からは小林理事、歯学部同窓会からは石樽常務理事が出席。参加者は50余名で校歌斉唱が行なわれ、開会のことばで始まり、会長挨拶の後来賓挨拶(酒井部長、私)がなされ、乾杯の音頭で懇談会に入り、途中本学卒業生の打雅奴(ダガヤ)太鼓の演奏も入り、会場で和気藹藹とした雰囲気で行なわれた。ビンゴ大会も90%以上の人に何か当たる結果となり、20時30分ごろ中締めが行なわれ疋田顧問の閉会のことばで終了した。 伊藤照夫(S48年卒)

四国同窓会

■開催日：平成22年11月13日(土)ロイヤルパークホテル高松

四国同窓会は17回目を迎え、ロイヤルパークホテル高松にて約40名の参加者が集い盛大に開催されました。

パワフルな太田孝司氏の司会で、四国同窓会代表幹事中野清治氏より開会挨拶と4月に発表された大野学長就任の報告があり、次に歯学部同窓会香川県支部長の永原滋万氏より医療費3割負担の件、香川県で開催された瀬戸内国際芸術祭同様、話題となった警察犬きなこ、うどんの映画等、地元の話をお話して頂いた後、来賓挨拶は始めに本学教務部長の竹市良成氏より、おめでとう話として硬式野球部が明治神宮野球大会で、早稲田大学と対戦することを披露されました。

更に昨今の“大学の都心回帰”に触れられ、私立大学中部地区No1を目標とし名古屋都心に進出計画の中の新キャンパスへビジネス系3学部を集中させることで経済学部を新設し、総合大学への構想説明を頂きました。続いて、地方同窓会本部商経会会長の余語充伸氏からは、同窓生が現在11万人となりましたが、地方から名古屋へより多くの新入生を送り込んで頂くよう、またOBの方々は卒業生の就職受入れ先として御尽力賜りたいという内容のお話を頂きました。

その後、懇親会に移りOBで香川県議会議員の綾田福雄氏が乾杯の音頭を取られ、食事歓談と酒量が増すに連れ、和やかな雰囲気と成り親交を育むことが出来ました。参加者全員の記念撮影、抽選会、二次会等々、各学部OBが一つに纏まり、最後に来年度の開会を約束し有意義な懇親会が開催されました。 小川 守(S48年卒)



関東同窓会

■開催日：平成22年11月20日(土)芝パークホテル別館

11月20日東京芝パークホテル別館にて平成22年度同窓会が開催され関東同窓会メンバー30数名と大学から大野榮人学長を始め各学部の同窓会役員5名の参加で盛況に行われた。大野学長は愛知学院大学をより良い大学にするため関東同窓会の皆様方のご努力に感謝されるとともにご自身の所信を述べられました。また懇親会場に於きましては、最近の日進キャンパスの様子が流され会員一同懐かしい学生時代を思い起こし昔話に花が咲き、成功裏に会が進行し、最後に愛知学院大学及び同窓会メンバーの発展と全員の再会を誓って幕を閉じる事が出来ました。 川口誉夫(S57年卒)

歴史研究の核心は「温故知新」にあり

林 董一 名誉教授

林董一名誉教授をお訪ねしたのは、10月15日。奇しくも愛知学院創立記念日であった。大学では記念式典のあと追悼会が行われ、ゆかりの人々を追悼した。今年2月他界の、55年連れ添われた奥様の法要も、経営学部教授であるご子息が出席して営まれた。この日、先生は愛知学院大学への深い感謝を胸に、万感の思いを込めて在職時代の思い出を語ってくださった。

愛知学院大学との公私にわたる「縁」

先生と愛知学院大学との縁は、一言では語れないほど深い。ご自宅は偶然にも楠元学舎から目と鼻の距離。三人のお子様は大学構内を遊び場として育ったという。教室で講義中の先生を見つけると、窓から「お父さーん」と呼びかけ、学生の笑いを誘った。一方、学生もまた先生のご自宅を、まるで大学の研究室かクラブの部室のように頻繁に出入りした。奥様は学生達をかわいがり、昼食時には手料理でもてなすという、まさに家族ぐるみのつきあいであった。

先生にとって最も思い出深い出来事の一つに、正月行事として、20年近く続いた1月4日の「おでんの会」がある。大学院生を自宅に招き、修士論文の最終指導を行うのだが、正月早々厳しく指導される学生に同情した奥様が、せめてささやかな慰労会をと発案されたようだ。

「法制史ゼミの卒業生は、40年間で約830人にのぼりますが、学生と長きにわたって家族的な関係を続けることができたのは、妻のおかげです。私は研究に没頭し、家族を旅行に連れていくこともできませんでしたが、教え子や財産だと言い、慈しんでくれた妻には心から感謝しています」

退職して6年。先生は原稿執筆、書籍の編集や監修、講演活動をこなされる上に、様々な公職に就かれ、多忙な日々を送られている。平成22年は名古屋市史、日進市史、名古屋市中区誌などの自治体史誌の編纂のほか、日進市周辺地区の「今昔写真集」の監修にと、締め切りに追われる日々が続いたとのこと。さらには、名古屋城本丸御殿の復元をふくむ名古屋城跡全体整備検討委員会副委員長や、新規開業する地下鉄駅の名称検討委員会委員長などの気を遣うお役目も多く、なかなか悠々自適とはいかないと嘆く。

ご自宅のすぐ近くにある先生の職場には、12,000冊におよぶ貴重な蔵書が、図書館さながらに整然と並び、名古屋商人史、尾張藩研究の第一人者として、史料に基づく厳格な歴史研究において数々の功績を残された先生だが、学究の歩みに終着点はないと話す。

「人間の一生で、できることはたかが知れています。専門である名古屋商人史でさえ、私が知らないことが山ほどあります。そしてまた、歴史の研究はただ単に古い事実をあきらかにするだけではなく、現在を理解し、未来にそなえるものでなくてはなりません。経済紙を含め新聞3紙を毎日欠かさず熟読しているのも、そうした信念からです」

温故知新——これが歴史研究の核心であり、先生の歴史に対する基本的な姿勢である。

健康は奥様からの贈り物

先生が83歳の現在もお元気で仕事を続けられている秘訣は、規則正しい生活と、毎日欠かすことのない読経にある。朝夕2回、数珠を手にかかけ、小1時間をかけて朗々と法華経を詠む。医師によれば、このお経を詠むときの腹式呼吸が健康に良いとのこと。そしてもう一つ、忘れてはならないのが「愛妻弁当」である。1年のうち330日の大学研究室生活。日々、研究と教育に精力を傾ける先生のために、学校の食堂では栄養が偏るとの奥様の配慮であった。日進学舎に通った30年間、栄養と味、彩りにこだわって作られた、延べ一万食におよぶ愛妻弁当。健康と長寿は奥様からの贈り物なのである。

先生が語られる数々の思い出深いエピソードは、人生の機微を聞く者に感得させるとともに、教え子やご家族、そして愛知学院大学への深い愛情が底流にある。いま、先生が愛知学院大学に望むのは、仏教精神を基盤とする自由でおおらかな校風や伝統を受け継ぎながらも、時代に適応する積極性や開拓精神を育成する大学であってほしいということである。

「私は研究の道を選んだことで、祖父から父親へと受け継がれてきた家業を途絶えさせてしまいました。その償いも込めて、法制史研究の後継者養成のために、できる限りのことをしたいと思っています」

職場の壁面を飾る大学から授与された名誉教授の称号記の番号は、「39」（サンキュー）。47年間の在職時代、そして退職されたいまもなお、愛知学院大学を愛する先生のお気持ちを引き寄せた「感謝」の称号記なのである。



壁面の称号記を指す林董一 名誉教授

【略歴】

- 1927年 名古屋市中区に商家の長男として生まれる
- 1953年 名古屋大学法学部法律学科卒業
- 1957年 愛知学院大学法学部講師
- 1959年 名古屋大学大学院修了
- 1961年 愛知学院大学助教授
- 1962年 法学博士取得 京都大学
- 1966年 愛知学院大学法学部教授
- 1979年 第32回中日文化賞受賞
- 1991年 第45回毎日出版文化特別賞共同受賞
- 1995年 第21回明治村賞、第28回東海テレビ文化賞受賞
- 1996年 愛知県文化功労者
- 2004年 愛知学院大学名誉教授

【主な著書・論文】

- 尾張藩の給知制(一條社、1957)
- 尾張藩公法史の研究(日本学術振興会、1962)
- 名古屋商人史(中部経済新聞社、1966)
- 將軍の座(文芸春秋、1988)
- 尾張藩漫筆(名古屋大学出版会、1989)
- 近世名古屋商人の研究(名古屋大学出版会、1994)
- 名古屋の忠臣蔵(愛知県教育サービスセンター、1995)
- 新修名古屋商人史3巻(共著)(名古屋市、1999) 他多数

【その他】

- 地域環境保全功労者として環境庁長官表彰
- 文化財保護功労者として文部大臣表彰
- 地域文化功労者として文部科学大臣表彰

キャンパス紹介

教学センターオープン!

平成22年9月2日、日進キャンパス1号館前に「教学センター」が新たに完成し、開所式が執り行われました。この教学センターには、教務課と学生課が本部棟1階より順次移転し、秋学期より学籍手続きや履修手続きなどを行っています。

整然と並んだカウンター(教務課11、学生課7)はあたかも銀行や郵便局のようですが、広々とした空間にゆったりと配置された窓口は、これまでの閉鎖的なイメージがなくなり学生からも好評です。また、バリアフリー化もされています。

なお、同窓生の方が「卒業証明書」等の証明書の発行を希望される場合は、教務課での手続きとなります。



▲教学センター外観



▲カウンター

■教学センター オープン時間

【授業期】 平日 9:00 ~ 18:00 土曜日 9:00 ~ 12:30

なお、証明書発行に関する情報は、大学ホームページをご覧ください。

<http://www.agu.ac.jp/old/subject3.html>

人 事 (敬称略)

■新 任 (平成22年4月1日付)

法務研究科 不法行為法 田上 富信 教授
法務研究科 契約法 山口 純夫 教授
法学部 刑法 三上 正隆 講師
法学部 商法、会社法 村上 康司 講師

■名誉教授 (平成22年4月1日付)

法学部 民法 黒田 喜重
法学部 商法 中谷 光隆
法学部 宗教法 若原 茂

■昇 任 (平成22年4月1日付)

法学部 民法 伊藤 栄寿 准教授

■退 職 (平成22年3月31日付)

法学部 刑事法 杉本 一敏 准教授

高橋太郎教授のご逝去を悼む

法科大学院長 芹田健太郎

平成21年7月1日に高橋太郎先生がご逝去されました。

高橋太郎さんは昭和29年2月の生まれで、同52年、名古屋大学法学部を卒業と同時に愛知県に就職。そして、同62年11月、旧司法試験に合格。翌年3月、愛知県を退職し、4月から司法修習生となり平成2年3月に司法修習を修了、4月に弁護士登録(当時の名古屋弁護士会)。寺澤弘法律事務所に入り、平成7年には高橋太郎事務所を設立して独立。この間愛知県自治研修所で行政法の講師等をお勤めになった。社会における活動には多様なものがあるが、特に日進市では日進市情報公開審査会長や個人情報保護審査会長を務められた。単に愛知県下の自治体のみならず、岐阜県下自治体の委員もお務めだった。

高橋太郎さんは本学教授としては、公法総合演習、情報法、行政救済法、地方自治法を担当された。特に演習は終了時間が夜8時ということもあって、学生との帰りの電車の中では熱を込めて勉強方法を伝え、悩み事をじっくりと聞いていただいた、と学生がしみじみ語っていた。事務所の事務の方の話では、糖尿病を抱えながらも無類のあんパン好きであった由。極めて人間くさい、控えめで、温厚な人であった。

個人の部

10月15日の創立記念式典で表彰を行ったクラブ団体及び個人。
 (対象期間 平成21年10月1日から平成22年9月30日)
 ※学科欄の 色つき部分は法学部に在籍する学生を示します。

平成21年度(秋季)

クラブ名	学科	氏名	大会名	成績
アイスホッケー部	宗教	高田 龍樹	中部学生アイスホッケー選手権	ベスト6・最優秀選手賞・最多得点賞 最多アシスト賞・最多ポイント賞
	総合	林 雅志	//	ベスト6
	現企	岡田 英揮	//	ベスト6
	グローバル	武田 浩平	//	最優秀ゴールキーパー賞
	総合	児寄 正己	//	新人賞
ソフトテニス部	商	村上 雄人	天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会	ダブルス：3位
	商	後藤 渉	//	ダブルス：3位
硬式野球部	商	溝口 雅人	愛知大学野球秋季リーグ戦	最優秀防御率賞・敢闘賞
	健康	前田 英雄	//	ベストナイン(外野手)
準硬式野球部	ビジネス	松井 準	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	ベストナイン(捕手)
スキー部	薬	高井 悠貴	東海学生基礎スキー選手権大会	男子個人総合：優勝
			全国学生岩岳スキー大会(基礎スキーの部)	男子個人総合：7位
			// (アルペン競技の部)	スーパー大回転：7位
ウエイトトレーニング部	ビジネス	小川 宗馬	中部学生秋季パワーリフティング選手権大会	男子90kg級：優勝
洋弓部	健康	楠 知子	全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会	6位
水泳部	健康	大塚 真弓	銚子マリーナ国際トライアスロン2009	女子総合：準優勝
	ビジネス	井ノ下 亜美	愛知県短水路選手権	50m背泳ぎ：優勝
	健康	清水 理恵	//	50mバタフライ：優勝 200mバタフライ：優勝
詩武道部	経営	林 基樹	練正館空手道選手権大会	有給の部：優勝
バレーボール部(女子)	現社	深見 早代	東海大学男女バレーボールリーグ戦 秋季大会	スパイク賞
居合道部	歴史	松本 世良	東海学生居合道大会	二段以上の部：優勝
	歴史	吉武 佳祐	//	初段の部：優勝

平成22年度(春季)

クラブ名	学科	氏名	大会名	成績
ゴルフ部	現企	小島 大輝	中部学生ゴルフ選手権	優勝
硬式庭球部	経営	上杉 司	東海学生新進テニス選手権大会	ダブルス：優勝
	総合	渡邊 勇人	//	ダブルス：優勝
ソフトテニス部	商	村上 雄人	東海学生ソフトテニス選手権大会	シングルス：優勝 ダブルス：優勝
			西日本学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
			全日本学生大学対抗ソフトテニス大会	ダブルス：ベスト8
	商	後藤 渉	東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
			西日本学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
			全日本学生大学対抗ソフトテニス大会	ダブルス：ベスト8
硬式野球部	現社	浦野 博司	愛知大学野球春季リーグ戦	最優秀選手賞・ベストナイン(投手)
	歴史	永嶋 勇介	//	ベストナイン(捕手)
	法律	与世山 修平	//	ベストナイン(一塁手)
	現企	上野 友敬	//	ベストナイン(三塁手)
	心理	梶原 康之	//	ベストナイン(外野手)
準硬式野球部	現企	田中 俊行	東海大学準硬式野球春季リーグ戦	ベストナイン(セカンド)
柔道部	経営	高松 倫也	愛知県段別柔道選手権大会	二段の部：優勝
	現社	須江 昂太	東海学生柔道夏季優勝大会	優秀選手賞
	現社	杉原 大将	東海学生柔道体重別選手権大会	66kg級：優勝
	歴史	根本 共平	愛知県学生柔道新人優勝大会	優秀選手賞
相撲部	経営	時田 一希	西日本学生相撲個人体重別選手権大会	65kg未満級：準優勝
	経営	高田 司	全国学生相撲個人体重別選手権大会	75kg未満級：ベスト8
馬術部	心理	神谷 千景	中部学生馬術女子選手権大会	優勝
			ボクシング部	現社
	ビジネス	西村 翼	//	ライトウエルター級：優勝
ウエイトトレーニング部	総合	越山 祐樹	中部学生パワーリフティング大会	82.5kg級：優勝
日本拳法部	法律	小池 和哉	中部日本学生拳法選手権大会個人戦	優勝
ヨット部	健康	肥子 裕美子	中部女子学生ヨット選手権大会	470級：優勝
	健康	東 はるか	//	470級：優勝
陸上競技部	健康	戸田 有希乃	愛知レディース陸上大会	100m：優勝
	法律	伊藤 洋輝	東海陸上競技選手権大会	4×400mリレー：優勝
	経営	田口 明	//	4×400mリレー：優勝
	ビジネス	野澤 俊輔	//	4×400mリレー：優勝
	歯	伊東 雅哲	//	4×400mリレー：優勝
	現社	三浦 明	//	やり投げ：優勝

水泳部	ビジネス	井ノ下 亜美	中部学生短水路選手権	200m背泳ぎ：優勝
			中部学生選手権	200m背泳ぎ：優勝
射撃部	国文	樋渡 友里	愛知県選手権水泳競技大会	50m平泳ぎ：優勝
	経営	戸軽 英斗	第77回中部学生ライフル射撃選手権大会	50mライフル伏射60発競技：優勝 50mライフル3×40発競技：優勝
			第78回中部学生ライフル射撃選手権大会	50mライフル伏射60発競技：優勝 50mライフル3×40発競技：優勝
空手道部	健康	藤原 里帆	日本空手協会 愛知県空手道選手権大会	高校・一般女子組手の部：優勝
	経営	黒野 正峰	//	一般男子形の部：優勝
	宗教	江藤 茜	東海地区大学空手道選手権大会個人戦	女子組手の部：優勝
			春季東海地区大学空手道選手権大会	女子個人組手：優勝
商	原田 彩未	日本空手協会 東海地区空手道選手権大会	女子組手：優勝	
バレーボール部(女子)	健康	大西 悠加	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	最優秀選手賞
			西日本バレーボール5学連男女選抜チーム対抗戦	最優秀選手賞
	ビジネス	井之口 綾香	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	ブロック賞
	健康	塚本 尚子	//	リベロ賞
	商	竹本 由美	//	セッター賞

団体の部

平成21年度(秋季)

クラブ名	大会名	成績
アイスホッケー部	中部学生アイスホッケー選手権	優勝
ソフトテニス部	秋季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
硬式野球部	愛知・東海・北陸3連盟王座決定戦	優勝
バレーボール部	愛知オープンバレーボール選手権大会	優勝
ラグビー部	全国地区対抗大学ラグビー大会	優勝
空手道部	秋季東海地区大学空手道選手権大会	男子団体組手：優勝 男子団体形：優勝
Singing All Stars	東海ビッグバンドコンテスト	最優秀賞

平成22年度(春季)

クラブ名	大会名	成績
ソフトテニス部	西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	準優勝
	第81回愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
	第82回愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
硬式野球部	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
バレーボール部	天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会愛知県ラウンド	優勝
日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	優勝
剣道部	東海女子学生剣道優勝大会	優勝
射撃部	第77回中部学生ライフル射撃選手権大会	総合優勝 10mエアライフル立射40発競技団体：優勝
	第78回中部学生ライフル射撃選手権大会	10mエアライフル立射60発競技：優勝
		10mエアライフル立射40発競技：優勝
空手道部	日本空手協会東海地区空手道選手権大会	男子団体形、組手：優勝 女子団体形、組手：優勝
バレーボール部(女子)	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	優勝
チャリダー部	中部チャリディング選手権大会	規定演技大学の部：1位

※その他、歯学部、薬学部の学生が歯科・薬学生を対象とした各種大会で優秀な成績を収めています。

平成22年度 クラブ・個人表彰

今年度、法学部同窓会ならびに文学部・心身科学部同窓会にて、長年の実績や各種競技会での活躍等をもとに下記クラブと個人を選考し、平成22年10月15日の創立記念式典にて表彰いたしました。

個人

- スキー部 高井 悠貴(医療薬学科 5年)
- 日本拳法部 小池 和哉(法律学科 4年)
- 空手道部 江藤 茜(宗教文化学科 4年)
- バレーボール部 大西 悠加(健康科学科 4年)

クラブ(団体)

- 放送文化研究会
- 陸上競技部
- 競技ダンス部
- 詩武道部(硬式空手道部)

予告 法学部同窓会創立50周年記念式典と記念講演会

昭和36年に法学部第1回生が卒業してから今年で50年がたちました。
これを記念して今年を法学部同窓会創立50周年記念事業年とし、次の3事業を行うことしております。

- 1、創立50周年記念式典と記念講演会の開催
- 2、記念論文集の発行
- 3、会員の親睦推進

特に、創立50周年記念式典と記念講演会は次のように予定をしております。

講演会 日時 平成23年11月19日(土)
16時～17時

場所 名古屋観光ホテル
講演者 林 成之氏

林 成之(はやし なりゆき)氏

専門 脳蘇生科学、救急医学、集中治療学、
脳神経外科学
略歴 日本大学大学院総合科学研究科教授
マイアミ大学 脳神経外科生体臨床教授
日本大学医学部附属板橋病院救急センター部長
日本大学医学部救急医学教室教授
日本大学医学部附属板橋病院副院長
日本大学総合科学研究所教授

記念式典 日時 平成23年11月19日(土)
17時30分～20時

場所 名古屋観光ホテル

*ご参加をお願い申し上げます。詳細は改めてご案内いたします。

新企画

リレー「私のふるさと」

卒業してから初めての社会経験、初めての土地での研修・仕事。苦しくて唇を噛んで星空を仰いだことも何度か…。上司からほめられて有頂天になったことも…。そして、あの甘酸っぱい思い出…。みんなあの場所(ふるさと)での出来事。どうしても忘れられない旅行。もう一回行ってみたい…。今から思えばみんな懐かしい。そんな懐かしいふるさとをみんな持っています。

そんなふるさとをリレーで紹介する、新企画「私のふるさと」です。リレーのバトンは、次にあなたに送ります。待ってくださいね。
第1回は、加藤敬三さん(S46年卒)の登場です。

私のふるすとは「グランド」。

学生時代の頃は、照っても、降っても、毎日グランドに出席。授業はその間に出席。グランドを離れて数十年。今やスポーツは見るだけのものになってしまった。そんな中で、最近スポーツのルールについて思うことがある。日常的に親しんでいるスポーツに、イギリス発祥とアメリカ発祥がある。二つの国の考え方の違いがルールの中にも明確に表れている。紳士の国イギリスは、スポーツマンシップにのっとり紳士は反則を犯さない、という上になり立っているのが審判は一人でジャッジをするということだ。

ところが、アメリカへ渡ると、そもそも紳士なんかいない、審判の目の届かないところで悪さをするのは当たり前。だからブラインドサイドを作らないよう要所要所に審判を置く、というのがアメリカ的考えで、何人もの審判が笛を吹いてジャッジすることになる。

ある狭い地域で楽しんでいたスポーツが世界に広まり、勝利が富を得られる競技になった今、勝つために反則ギリギリもしくは、それ以上のことをしても勝ちたいとなって来ている今日では、残念ながら「紳士たれ!」と叫んでも聞かなくなっていると感じられる。何年か先には、紳士の国のスポーツも複数の審判によってジャッジされているかもしれない。

その時にアメリカのスポーツは、それでも判定が怪しいと言ってビデオを持ち出してケンケンガクガクやっているでしょう。

でも、テレビの前の観客のストレスはどちらの考え方のほうがちいさいのかな、と。

今回は西尾克彦さん(S54年卒)に送ります。西尾さんよろしく!



加藤敬三(S46年卒)

同窓会ホームページ新企画の紹介

同窓会ホームページが昨年から新企画を盛り込んで公開中です。

主な内容は…

- ・ テーマ別投稿……………毎回出される「お題」に関するコメントを紹介するコーナー
- ・ 『教えて!同窓生』……………在学生からの質問に同窓生がこたえるコーナー
- ・ 『季節の一枚』(写真)……………全国各地に散らばる同窓生からの“旬な写真”を紹介するコーナー

今後も同窓生はもちろん、在学生も見ても楽しめる、ためになる充実したコンテンツを展開してまいります。皆さまの参加もお待ちしています!

■法学部同窓会ホームページ <http://www.agu-houdoso.org/>



教えて!同窓生(イメージ)



季節の一枚

編集後記

◇あ～日々辛抱…。辛抱とは一説には「心法」からの由来とか「辛抱する木に金がかかる」明日もがんばろう!!(とし)

愛知学院大学法学部同窓会会報

Vol.69 2011.1.1

愛知学院大学法学部同窓会

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
TEL:0561-73-1111(内線2303)
FAX:0561-74-1410
<http://www.agu-houdoso.org/>